

平成元年 9 月 招 集

第 3 回 館 山 市 議 会 定 例 会 会 議 録

館 山 市 議 会



## 目 次

### ◎第1号(9月13日)

開 会 .....	3
議長の報告 .....	3
議案の配付 .....	3
会議録署名議員の指名 .....	4
会期の決定 .....	4
会議日程の決定 .....	4
議案第49号～議案第58号、認定第1号～認定第7号 (提案理由の説明) .....	4
延 会 .....	12
本日の会議に付した事件 .....	12

### ◎第2号(9月18日)

開 議 .....	14
行政一般通告質問 .....	14
小宮 利夫君の質問、当局の応答 .....	14
横溝 功君の質問、当局の応答 .....	27
辻田 実君の質問、当局の応答 .....	36
山中金治郎君の質問、当局の応答 .....	57
神田 守隆君の質問、当局の応答 .....	67
田沢 勝信君の質問、当局の応答 .....	83
散 会 .....	98
本日の会議に付した事件 .....	98

### ◎第3号(9月19日)

開 議 .....	100
議案第49号 .....	101

神田 守隆君の質疑、当局の応答 .....	101
委員会付託の省略 .....	103
採決 .....	103
議案第50号～議案第57号 .....	103
神田 守隆君の質疑、当局の応答 .....	104
辻田 実君の質疑、当局の応答 .....	109
田沢 勝信君の質疑、当局の応答 .....	119
日下 君敏君の質疑、当局の応答 .....	121
岩村 勝弘君の質疑、当局の応答 .....	124
委員会付託 .....	126
議案第58号 .....	127
神田 守隆君の質疑、当局の応答 .....	127
辻田 実君の質疑、当局の応答 .....	132
委員会付託 .....	137
請願第20号 .....	137
委員会付託 .....	137
延 会 .....	137
本日の会議に付した事件 .....	138

#### ◎第4号（9月20日）

開 議 .....	140
認定第1号～認定第7号 .....	140
辻田 実君の質疑、当局の応答 .....	141
神田 守隆君の質疑、当局の応答 .....	159
決算審査特別委員会の設置・付託・委員の選任 .....	170
延 会 .....	171
本日の会議に付した事件 .....	171

#### ◎第5号（9月29日）

開 議 .....	175
議案の配付 .....	175
議案第50号～議案第55号、議案第58号 .....	176
総務委員会委員長報告 .....	176
辻田 実君の討論 .....	178
採決 .....	183
議案第56号、議案第57号、議案第27号 .....	184
文教民生委員会委員長報告 .....	184
辻田 実君の討論 .....	187
榎本 春光君の討論 .....	195
採決 .....	196
議案第32号、議案第33号 .....	200
建設経済委員会委員長報告 .....	200
神田 守隆君の討論 .....	202
採決 .....	204
請願第18号 .....	206
総務委員会委員長報告 .....	206
辻田 実君の討論 .....	207
採決 .....	208
継続審査について（請願第20号） .....	211
認定第1号～認定第7号 .....	211
決算審査特別委員会委員長報告 .....	211
採決 .....	218
議案第59号 .....	219
説明 .....	219
委員会付託の省略 .....	219
採決 .....	220
議案第60号 .....	220
説明 .....	220

委員会付託の省略 .....	221
採決 .....	221
議案第61号 .....	222
説明 .....	222
委員会付託の省略 .....	222
採決 .....	223
発議案第4号 .....	223
説明 .....	223
委員会付託の省略 .....	224
採決 .....	225
閉 会 .....	225
本日の会議に付した事件 .....	225

**第 3 回 館山市議会定例会会議録**

**(第 1 号)**





1 平成元年9月13日(水曜日)午前10時

1 館山市役所議場

1 出席議員 26名

1 番	脇田 安保	2 番	永井 龍平
3 番	田沢 勝信	4 番	庄司二三男
5 番	岩村 勝弘	6 番	山崎 雅己
7 番	生稲 隆	8 番	鈴木 勝美
9 番	山口 康雄	10 番	鈴木 忠夫
11 番	神田 守隆	12 番	榎本 春光
13 番	山中金治郎	14 番	小宮 利夫
15 番	横溝 功	16 番	石井 昌治
17 番	石井 謀	18 番	日下 君敏
19 番	川名 正二	20 番	福原 勤
21 番	辻田 実	22 番	黒川 平治
23 番	流山源次郎	25 番	渡辺 昭夫
26 番	近藤 好雄	28 番	飯田 義男

1 欠席議員 1名

27 番 林 豊

1 出席説明員

市長 半澤 良一  
収入役 渡辺 弘  
総務部長 渡辺 秀夫  
経済部長 安西 良一  
教育委員会 杉村 芳枝  
選挙管理委員会 加藤 利  
監査委員 鈴木 重司  
農業委員会 斎藤 明

助役 小倉 澄男  
市長公室長 錦織 茂  
民生部長 小幡 清之  
水道課長 鈴木 信一  
教育委員会 福原 修  
選挙管理委員会 佐藤 澄雄  
監査事務局 熊坂 桂一  
農業委員会 岩城 昭

1 出席事務局職員

事務局 長 川上 義雄

事務局 長 補 佐 兵藤 恭一

書 記 鈴木 哲

書 記 鈴木 修一

書 記 加藤 浩一

1 議事日程（第1号）

平成元年9月13日午前10時開議

日程第1 会議録署名議員の指名

日程第2 会期の決定

日程第3 会議日程の決定

議案第49号 非常勤の特別職の職員に係る報酬及び費用弁償  
に関する条例の一部を改正する条例の専決処分  
の承認について

議案第50号 千葉縣市町村公平委員会共同設置規約の一部を  
改正する規約の制定に関する協議について

議案第51号 館山市の休日に関する条例の制定について

議案第52号 非常勤の特別職の職員に係る報酬及び費用弁償  
に関する条例の一部を改正する条例の制定につ  
いて

議案第53号 館山市減債基金条例の制定について

議案第54号 館山市ふるさと創生人材育成基金条例の制定に  
ついて

議案第55号 館山市ふるさと創生奨学基金条例の制定につい  
て

議案第56号 館山市ふるさと創生奨学資金貸付条例の制定に  
ついて

日程第4 } 議案第57号 長寿健康都市宣言について

議案第58号 平成元年度館山市一般会計補正予算（第3号）

認定第1号 昭和63年度館山市一般会計歳入歳出決算の認  
定について

- 認定第 2号 昭和63年度館山市国民健康保険特別会計歳入  
歳出決算の認定について
- 認定第 3号 昭和63年度館山市老人保健特別会計歳入歳出  
決算の認定について
- 認定第 4号 昭和63年度館山市ユースホテル特別会計歳  
入歳出決算の認定について
- 認定第 5号 昭和63年度館山市学童災害共済事業特別会計  
歳入歳出決算の認定について
- 認定第 6号 昭和63年度館山市水道事業特別会計収支決算  
の認定について
- 認定第 7号 昭和63年度館山市国民宿舎事業特別会計収支  
決算の認定について

開 会 午前10時04分

◎副議長（石井 謀君） 本日の出席議員数26名、これより平成元年第3回市議会定例会を開会し、直ちに本日の会議を開きます。

#### 議長の報告

◎副議長（石井 謀君） 本定例会議案審議のため、地方自治法第121条の規定による出席要求に対し、お手元に配付のとおり出席報告がありましたので、御了承願います。

なお、監査委員から6月乃至8月実施の監査結果が報告されております。お手元に配付の印刷書により御了承を願います。

#### 議案の配付

◎副議長（石井 謀君） ただいま市長から議案並びに説明書の送付がありました。

議案並びに説明書を配付いたさせます。

配付漏れありませんか。―― 配付漏れなしと認めます。

本日の議事はお手元に配付の日程表により行います。

#### 会議録署名議員の指名

◎副議長（石井 謀君） 日程第1、会議録署名議員の指名を行います。

1番議員脇田安保君、28番議員飯田義男君、以上両君を指名いたします。

#### 会期の決定

◎副議長（石井 謀君） 日程第2、会期の決定を行います。

本定例会の会期につき議会運営協議会の意見は本9月13日から9月29日までの17日間ということであります。

お諮りいたします。会期を17日間と定めますことに御異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

◎副議長（石井 謀君） 御異議なしと認めます。よって、会期は9月13日から9月29日までの17日間と決定いたしました。

#### 会議日程の決定

◎副議長（石井 謀君） 日程第3、会議日程の決定を行います。

お諮りいたします。お手元に配付の会議日程表は、本定例会の大体の日取り予定であります。議会運営協議会の意見により作成いたしました。本定例会をおおむねこの会議日程表により運びますとともに、その間議案の追加または議事の都合等によりまして、その都度これを改めることにして大体このようにいたしたいと思っております。これに御異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

◎副議長（石井 謀君） 御異議なしと認めます。よって会議日程は決定いたしました。

#### 議案の上程

◎副議長（石井 謀君） 日程第4、議案第49号乃至議案第58号及び認定第1号乃至認定第7号の各議案を一括して議題といたします。

### 提案理由の説明

◎副議長（石井 謀君） これより各議案に対する提案理由の説明を求めます。

半澤市長。

（市長半澤良一君登壇）

◎市長（半澤良一君） 本日、ここに第3回市議会定例会を招集いたし、当面する諸案件について御審議をお願いすることといたしました。議員の皆様方には御多忙のところ御出席をいただきありがとうございます。

今回、提案いたします案件は、条例議案7件、一般議案2件及び補正予算1件並びに認定7件でございます。

以下、その概要について御説明申し上げます。

まず、議案第49号非常勤の特別職の職員に係る報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例の専決処分の承認についてでございますが、国会議員の選挙等の執行経費の基準に関する法律の一部を改正する法律が6月28日施行されましたので、7月23日に実施いたしました参議院議員選挙に伴い急遽改正する必要性が生じたため、同条例の一部を地方自治法第179条第1項の規定により専決処分いたしましたので、議会に報告し、その承認を求めようとするものでございます。

今回の改正の主な内容は、投票管理者等の日額報酬額7,000円を7,500円に、投票立会人等の日額報酬額5,700円を6,100円にそれぞれ引き上げたものでございます。

次に、議案第50号千葉県市町村公平委員会共同設置規約の一部を改正する規約の制定に関する協議についてでございますが、千葉県市町村総合事務組合より、千葉県市町村公平委員会共同設置規約の一部を改正することについて協議があったものでございます。この規約改正は、千葉県東部連合と畜場組合が平成元年4月1日付をもって千葉県東総食肉センター組合に名称変更したことによる改正で、関係地方公共団体の協議の整った日から施行しようとするものでございます。

次に、議案第51号館山市の休日に関する条例の制定についてでございますが、週休2日制の実現に向け、土曜日を休日にすることに根拠を与えることを趣旨として地方自治法が前年12月に改正され、地方公共団体の休日について条例で定めるよう規定されたところでございます。本市といたしましても、これに基づきまして国・県に準じ、また、県内及び近隣市町村との均衡を考慮いたしまして毎月の第2及び第4土曜日を休日とすることを含め、本市の休日を定めようとするものでございます。

また、本条例の制定に伴いまして職員の休日等の規定につきましてもあわせ改正しようとするものでございます。

次に、議案第52号非常勤の特別職の職員に係る報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例の制定についてでございますが、館山都市計画事業館山駅西口地区土地区画整理事業を施行するに当たり土地の評価を実施し換地設計を行うこととなりますが、その際の土地の評価について意見を聞くため、土地区画整理評価員を選任するに当たり、その報酬額を定めようとするものでございます。

次に、議案第53号館山市減債基金条例の制定についてでございますが、これは今年度の地方交付税におきまして、地方財政健全化の対策として、昭和55年度以前に発行された財源対策債の平成元年度末における元金残高相当額が基準財政需要額に措置されたことに伴い、これらの償還に備えるため、国の指導により、基金条例を制定しようとするものでございます。

次に、議案第54号館山市ふるさと創生人材育成基金条例の制定についてでございますが、自治省において地方の自主的・主体的な地域づくりを推進するため、自ら考え自ら行う地域づくり事業が創設されました。

市町村がこの事業を実施する際は、広く住民参加を図るようにとの指導があり、本年2月の館山市広報にて市民から企画書を募集し、御提案いただいた企画書について検討を重ねてまいりました。

館山市といたしましては、市民から提案されました企画書を踏まえ、人材の育成を図るべく青少年海外派遣事業及び地域リーダーの育成事業を行うことといたしました。館山市ふるさと創生奨学資金貸付事業とあわせて、「自

ら考え自ら行う地域づくり事業」を人材育成事業として実施したいと考えます。

人材育成事業に係る資金に充てるため、館山市ふるさと創生基金条例を発展的解消し、新たな館山市ふるさと創生人材育成基金条例を制定しようとするものでございます。

次に、議案第55号館山市ふるさと創生奨学基金条例の制定についてでございますが、議案第54号で御説明申し上げました「自ら考え自ら行う地域づくり事業」のもとに実施する人材育成事業として、館山市ふるさと創生奨学資金貸付条例の事務を円滑かつ効率的に行うため、館山市ふるさと創生奨学基金条例を制定しようとするものでございます。

次に、議案第56号館山市ふるさと創生奨学資金貸付条例の制定についてでございますが、現在、福祉事務所が主管となっております館山市奨学資金貸付条例を廃止し、教育施策的観点から有為な人材を育成するため、奨学資金の引き上げ、償還期限の延長、地域に定住した者に返還の免除措置を設け、学業が優秀な者に必要な学資を貸し付けしようとするものでございます。

次に、議案第57号長寿健康都市宣言についてでございますが、我が国の平均寿命は年々伸び、人生80年時代を迎えました。

人生の目標である長寿は、健康をあわせ持つことが特に大切なことであり、また、市勢振興の基本でもあります。「自分の健康は自分でつくり、自分で守る」という理念のもとに、活力ある長寿社会を実現するため、ここに「長寿健康都市宣言」を御提案する次第でございます。

次に、議案第58号平成元年度館山市一般会計補正予算（第3号）でございますが、歳入歳出予算の補正といたしまして、歳入歳出それぞれ8億970万4,000円を追加し、総額117億1,579万7,000円としようとするものでございます。

歳出の主な内容といたしましては、総務費では、館山市減債基金積立金で2億4,213万円、これは、地方交付税におきまして、昭和55年度以前借入分の財源対策債につきまして、財源対策債償還基金費として平成元年度末の元金残高相当額が基準財政需要額に措置されたことにより、基金条例を制定し

積み立てようとするものでございます。また、市庁舎周辺舗装工事請負費で 150万円、青少年海外派遣事業及び地域リーダー育成事業を実施するため館山市ふるさと創生人材育成基金を設置し、積立金で 7,500万円、民生費では、母子家庭修学費助成費で 159万 2,000円、これは、児童扶養手当の支給要件を満たしている者の児童が満18歳以後引き続き高等学校等に就学している場合、当該年度中の修学費用を助成しようとするものでございます。衛生費では、相浜地区の排水浄化のため都市排水路等浄化施設の設計委託料及び設置工事請負費で 3,600万円、広域的水道整備を推進するため、安房・夷隅郡市の17市町村による南部地域広域水道企業団設立促進協議会が発足し、この協議会への負担金で 209万 5,000円、農林水産業費では、ビワのハウス施設3カ所に対し果樹生産安定施設整備事業補助金で 753万 8,000円、商工費では、心身の健康をテーマとしたウェルネスリゾートパーク整備基本計画策定業務委託料で 1,200万円、土木費では、給料、職員手当等につきまして災害復旧費へ振りかえたため、土木総務費で 486万 9,000円の減、市道4040号線外40路線につきまして、排水路整備、舗装及び道路改良等の路線測量設計委託料で 2,400万円、市道8015号線外4路線の道路用地購入費で 6,365万 6,000円、山本の踏切道改修工事負担金で 1,108万 8,000円、市道8015号線外2路線の地上物件等補償費で 790万円、久所橋かけかえ工事請負費で執行残によりまして 430万 6,000円の減、船形館山港線の都市計画街路基本実施設計委託料につきまして、他の事業との整合ある調整を図るため繰り延べし 1,600万円の減、川名大賀線の都市計画街路予備設計委託料で 1,900万円、八幡都市下水路調査測量設計委託料で 827万円、六軒町下水路改良工事につきまして県の地域排水路整備事業として採択されることになりましたので、負担金で 2,266万 7,000円、城山公園整備工事請負費で日本庭園整備工事及び管理棟建設工事で 2,847万 6,000円、消防費では、防火水槽用地の返還に伴い防火水槽埋め立て工事補助金で 150万円、教育費では、高校生、大学生等を対象に修学金等の貸し付け事業を実施するため館山市ふるさと創生奨学基金を設置し、繰出金で 7,500万円、北条小学校校舎等改修工事請負費及び神戸小学校校舎改修工事請負費で入札残によりまして 311万 2,000円の減、北条幼稚園



及び館山幼稚園の学級増によりまして臨時職員賃金で 201万 1,000円、造形作品購入費で 927万円、博物館におきまして事務職員 1 名減の補充といたしまして臨時職員賃金で 129万 5,000円、展示資料購入費で 300万円、災害復旧費では、土木施設災害復旧費で 1 億 1,275万 8,000円、公債費では、地方債の繰り上げ償還元金で 7,040万 7,000円、地方債利子で昭和63年度許可分の借入金利率確定等によりまして 512万円の減、以上歳出の主なものにつきまして御説明申し上げましたが、これらの財源といたしまして、国・県支出金及び館山市ふるさと創生基金等の特定財源 2 億 3,598万円、地方交付税及び前年度繰越金等の一般財源 5 億 7,372万 4,000円をもって充当しようとするものでございます。

次に、認定第 1 号乃至認定第 7 号の諸案件は、いずれも昭和63年度館山市一般会計外 6 特別会計の歳入歳出決算の認定につきまして、地方自治法等の規定に基づき監査委員の意見を付して、議会の認定をお願いするものでございます。

昭和63年度の我が国経済は、外需が引き続き減少したものの、個人消費が堅調に推移し、設備投資が増勢を強めるなど、内需は引き続き増加し、拡大局面にあり、また、鉱工業生産も増加傾向にあり、雇用情勢は引き続き改善されてまいりました。一方、経常収支におきましては、依然として水準は高いものの、輸入が製品類を中心に増加していること等から黒字幅は縮小傾向にあり、このような中で、政府は、主要国との政策協調を推進し、為替レートの安定を図りつつ、内需を中心とした景気の持続的な拡大を図るとともに、対外不均衡の是正、調和ある対外経済関係の形成に努めるため、機動的かつきめ細かな経済運営に努めてきたところでございます。

一方、地方財政におきましては、累積した地方債及び地方交付税特別会計借入金残高を抱え、さらに国庫補助負担率の引き下げが継続される等、厳しい状況にあることから、おおむね国と同一の基調により、歳入面においては、地方債の抑制に努めるとともに、地方税負担の公平適正化を推進しつつ、地方財源の充実と地方交付税の所要額の確保を図り、歳出面においては、経費全般についてさらに節減合理化を図るとともに、生活関連施設等の整備と地

域の特性を生かした魅力ある地域づくりを推進するため必要な地方単独事業費の確保に配慮する等、限られた財源の重点的配分と経費支出の効率化に徹することが要請されました。このため、引き続き行財政の刷新、簡素・効率化の推進を図るとともに、経済の動向に即応した機動的、弾力的な運営にも配慮し、節度ある財政運営を行うこととされました。

本市におきましては、このような国及び地方を取り巻く厳しい財政環境の中で、既存の事務事業の見直し等、行財政改革を進めるとともに、税収入の確保、地方債の繰り上げ償還等、健全財政を基本に計画的な行財政運営に努めてきたところでございます。具体的な予算の執行に当たりましては、市の基本構想で定めた将来都市像「活力ある文化福祉都市」の実現に向け、施策の緊急性、優先度の検討、真に必要な施策の選択など、財政の質的充実に留意しつつ、地域の振興、福祉及び教育文化の向上、生活関連施設の整備充実に計画的に推進し、市民生活の安定向上に努めてまいりました。この結果、一般会計におきましては、歳入総額 111億 524万余円で対前年度比4億 7,039万余円の増、歳出総額 103億 4,364万余円で対前年度比1億 8,792万余円の増となり、道路新設改良事業、市道1031号線道路改良事業、都市計画街路整備事業、下水路工事請負費及び土木施設災害復旧事業に係る繰越額 6,149万余円を除く実質収支は、7億10万余円となっております。

また、特別会計におきましては、運営の合理化、適正化を図りながら独立採算制の確保に努めました。

国民健康保険会計におきましては、医療費が 2.5%減少し、歳出が前年度をわずかながら下回るものとなりました。老人保健会計の医療費におきましては、8.7%の増となっております。なお、実質収支につきましては、国民健康保険会計2億 5,870万余円、老人保健会計 1,166万余円となっております。

水道事業会計におきましては、作名ダムの水源を確保するため、揚水施設改良工事を施工したほか、神余ダムしゅんせつ工事の施工、国道 127号バイパスの配水管布設工事等、既存施設の整備拡充に努めました。収益的収支につきましては、3,918万余円の純利益を生じ、剰余金として翌年度に繰り越

すとともに、資本的収支につきましては、2億 756万余円の不足が生じ、減債積立金と過年度分損益勘定留保資金で補てんすることといたしました。

国民宿舎事業会計におきましては、宿泊利用料の料金改定を行い、事業の安定化を図るとともに、コース別の特別定食を企画し実施いたしました。さらに、老人割引利用等、より一層のサービスの向上に努めてまいりました結果、本年度宿泊利用者数は前年度に比べ 2.1%の増となっております。なお、一般会計からの出資金を財源といたしまして、昭和54年度借り入れの政府企業債の繰り上げ償還を実施し、経営の健全化を図りました。収益的収支につきましては 414万余円の純利益を生じましたが、資本的収支につきましては 1,414万余円の不足が生じたため、当年度損益勘定留保資金及び一時借入金をもって措置いたしました。

以上、昭和63年度の決算について、その概要を申し上げましたが、個々の施策につきましては「決算に係る主要な施策の成果に関する報告」及び「歳入歳出決算事項別明細書」等により御了承賜りたいと存じます。

なお、今、本市は、「房総リゾート地域整備構想」に象徴されるように、大きな時代の転機に立っていることは、御承知のとおりでございます。

今後の市政運営につきましては、各会計の決算状況を踏まえながら、地域の発展に向けて、長期的な展望の中で、より計画的な行政を展開してまいりたいと存じます。

とりわけ、一般会計におきましては、ここ数年の経済情勢から、市税等歳入が好調に推移している状況でございますが、このようなときこそ、なお一層の計画行政を推進するとともに、今後の社会経済情勢の変化や、複雑化、多様化する行政需要の増大に備え、市税等歳入全般にわたる確保に意を用いながら、さらに、基金への積み立て、あるいは地方債の繰り上げ償還による財政構造の弾力化等、将来にわたって、予算規模の安定的な確保を図り、健全な財政運営に努めてまいりたいと考えておりますので、御理解を賜りたいと存じます。

以上、各議案に対する提案理由について御説明申し上げましたが、この会期中追加議案といたしまして、人権擁護委員候補者の推薦について、館山市

監査委員の選任について及び館山市教育委員会委員の任命について議会の同意を得たく、上程をお願いする予定でございます。

よろしく御審議のほどお願いいたします。ありがとうございました。

◎副議長（石井 謀君） 以上で提案理由の説明を終わります。

延 会 午前10時32分

◎副議長（石井 謀君） お諮りいたします。

本日の会議はこれにて延会いたしたいと思います。これに御異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

◎副議長（石井 謀君） 御異議なしと認めます。よって本日はこれにて延会することに決しました。

なお、明9月14日から17日まで議案調査のため休会、次会は9月18日午前10時開会とし、その議事は通告による行政一般質問を行います。

この際、申し上げます。一般議案、補正予算についての質疑通告の締め切りは9月18日正午でありますので、申し添えます。

◎本日の会議に付した事件

- 1 会議録署名議員の指名
- 1 会期の決定
- 1 会議日程の決定
- 1 議案第49号乃至議案第58号
- 1 認定第1号乃至認定第7号